

経営学部生と岩槻人形協同組合とのコラボ商品第三弾

岩槻人形「新商品」を発表

6月1日より発売予定、「新商品」総称名を一般公募

文京学院大学は、人形づくり380年以上の歴史と伝統を継承する埼玉県さいたま市岩槻区の岩槻人形協同組合と協働し、岩槻人形の元祖で、かつて岩槻で数多く作られていた「袴雛(かみしもびな)」を復興させるプロジェクトにおいて開発した「新商品」を完成させ、3月5日に発表しました。また、今回の「新商品」完成を記念し、商品の総称名を一般公募いたします。

岩槻人形協同組合と本学の取り組み

近年注目を浴びている日本の伝統的工芸品産業は、従事者数、生産額が減少傾向にあります。そこで本学は、伝統産業に関するフィールドワークを実施。2016年3月、本学と人形作り380年以上の歴史を誇る岩槻人形協同組合は、伝統工芸技能と優れた作品を世の中に広め、将来的な発展に繋げていくことを目的に産学連携推進の協定を締結しました。その第一弾として同年、「フクロウ型の眼鏡置き」を発表。2017年3月には、岩槻人形の元祖である「袴雛」を現代に復活させるプロジェクトに取り組みました。

第三弾となる本年は、多くの反響をいただいた昨年の「現代版・袴雛」復活プロジェクトを継承し、新たに本学経営学部の学生3名が主体となり、新商品発売にむけて、人形躯体から腕の曲げ方、頭の倒し方など細部まで職人の方々と話し合いながら通年商品としての、5体の「新商品」を完成させました。



江戸時代、庶民に愛された「袴雛」

「新商品」について

今回発表した「新商品」は、現代を生きるすべての人の心に寄り添う人形を作りたいと考え、コンセプトを「大切な人に願いを込めて」とし、制作しました。今年度は商品化を目標に、昨年度の作品から1点をピックアップし、量産に対応できるよう、様々な工夫をし、ブラッシュアップさせ、生まれ変わらせました。

さらに、「健康」「勉強」「就職」「良縁」という4つの願いをより明確に表現するために、姿勢や体つき、衣装の生地デザインから持ち物の小道具、髪型や髪飾りといった細部まで見直し、新たなデザインに仕上げました。

デザインのコンセプトは、昨年度から引き継いだ「ゆる可愛さ」と昨年の求評会で得たアンケートの声です。頭が大きく居眠りする姿は、見る人の心に寄り添い、癒してくれます。美しく凛々しく立派な節句人形に加え、新たな岩槻の人形としてのポジションを果たす事を期待しています。



＜健康祈願バージョン＞
健やかに育ってほしいと、贈りたい人の名前を書き入れることができるネームプレートを持っています



＜学業成就バージョン＞
学びに喜びを感じてほしいと、ハチマキとノートを持たせています



＜仕事運祈願バージョン＞
ビジネスバッグを持ち、ネクタイを締め、髪を七三に描いています



＜良縁祈願バージョン＞
良い縁に巡りあって欲しいという願いをこめて、ハートの水引をもたせています



＜オリジナルバージョン＞
大切な人に願いをこめて贈られる人形として、ゆるくてかわいい人形の基本形です

【商品詳細】

サイズ:幅 12cm×高さ 12cm～13cm×奥行 12cm (座布団を含む)

価格:11,800 円(税別)

総称名を一般公募し、6月より発売開始

今回は、岩槻人形の通年商品としての完成発表を記念し、一般の方から総称名を公募いたします。

(公募期間:2018年3月5日(月)～2018年4月5日(木) 応募先:岩槻人形協同組合)

職人の手による一つひとつの作業を大切にしながらも、たくさんの方に届けるための工夫も施された本商品は、公募から決めた新たな名前を発表するとともに、2018年6月からの発売を予定しています。

また、3月6日(火)より岩槻駅東口コミュニティセンターWATSU 2Fにて、5体の商品を5月6日(日)まで展示します。

＜文京学院大学について＞

1924年、創立者島田依史子が島田裁縫伝習所を文京区に開設。教育理念「自立と共生」を根源とする先進的な教育環境を整備し、現在は、東京都文京区、埼玉県ふじみ野市にキャンパスを置いています。外国語学部、経営学部、人間学部、保健医療技術学部、大学院に約5,000人の学生が在籍する総合大学です。学問に加え、留学や資格取得、インターンシップなど学生の社会人基礎力を高める多彩な教育を地域と連携しながら実践しています。